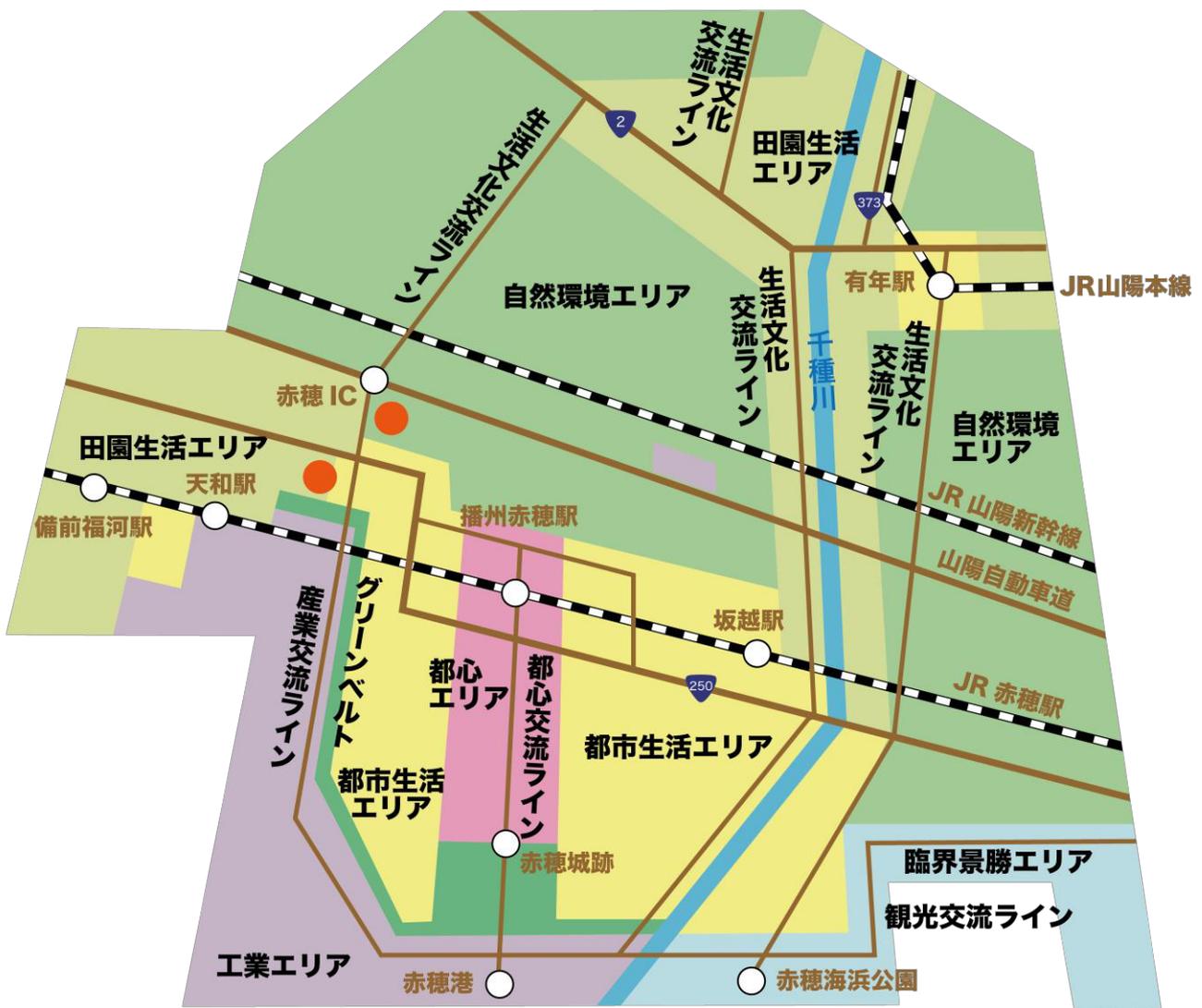


1.土地利用の基本的方向

本市の土地は、市民の皆さんや市の限られた貴重な資源であるとともに、市民生活や生産・経済活動等の基盤となるものです。このため、本市の土地利用は、公共の福祉を優先しつつも、個人の権利・利益の保護、また自然環境の保全に配慮しながら、市域全体の調和のある発展を目指し、概ね次に示すエリア区分を基本として進めます。

土地利用図



凡例			
	都市生活エリア		田園生活エリア
	都心エリア		臨海景勝エリア
	工業エリア		自然環境エリア
			土地利用検討エリア

区分	基本的方向
都市生活エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●機能的な生活基盤の維持・充実と、それぞれの地域特性に沿った利便性や快適性の向上を図ります。
都心エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●市域内外からの利用を想定した行政機能、商業機能、居住機能の集積を促進します。
田園生活エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●農業振興を促進し、地域活力の維持向上を図るとともに、田園風景の保全に努めます。
工業エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●工業生産基盤となる港湾や道路の機能維持を図るとともに、企業の立地促進を図り、生産機能を高めます。また、未利用地の有効活用について検討していきます。
臨海景勝エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●自然やまちなみの景観と調和を図りながら、自然や歴史と人がふれあう交流の場として整備、活用に努めます。
自然環境エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●災害防止、水資源のストック、大気の浄化など、森林の持つ機能保全に努めるとともに、健康づくりとレクリエーションの場としての活用を促進します。
土地利用検討エリア	<ul style="list-style-type: none"> ●車両輸送の玄関口となる山陽自動車道赤穂IC周辺において、新たな産業の集積地をはじめとした利活用を検討していきます。

2.機能軸（ライン）の設定

幹線道路および鉄道を主体とした機能軸（ライン）を次のように設定します。

区分	位置づけ	役割
広域交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 山陽自動車道を本市と全国とを直結する広域交流軸、国道2号、国道250号および国道373号、JR山陽本線およびJR赤穂線を京阪神都市圏や岡山など西日本を結ぶ広域交流ラインと位置づけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 広域的なアクセス機能と通勤・通学などの市民の日常生活を支える役割を果たします。 ● 山陽自動車道と国道は、災害時の緊急輸送路の役割を果たします。
産業交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 山陽自動車道赤穂ICから都市計画道路新田坂越線を直結することによって産業交流ラインと位置づけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤穂港から「工業エリア」、山陽自動車道赤穂ICまでの沿線において、産業の交流と活性化を促進する役割を果たします。
生活文化交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要地方道赤穂佐伯線およびJR有年駅周辺地区と周世、高雄地区を結び海浜公園に至る高雄有年横尾線、周世尾崎線、大津地区と西有年地区の国道2号を結ぶ一般県道大津西有年線を生活文化交流ラインと位置づけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市域の南北生活圏を結び、生活と文化の交流を促進する役割を果たします。
観光交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要地方道坂越御崎加里屋線および県道壺根坂越線を観光交流ラインと位置づけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東部「臨海景勝エリア」の瀬戸内沿岸地域における観光機能の活性化と交流を促進する役割を果たします。
都心交流ライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤穂港から加里屋地区、JR播州赤穂駅を経て駅北地区に至る幹線道路を都心交流ラインと位置づけます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「都心エリア」を縦断し、都市活動の活性化を促進する役割を果たします。 ● 市民および観光客に親しまれる、本市のシンボルロードとしての役割を果たします。 ● 赤穂港との有機的な連携を図る役割を果たします。